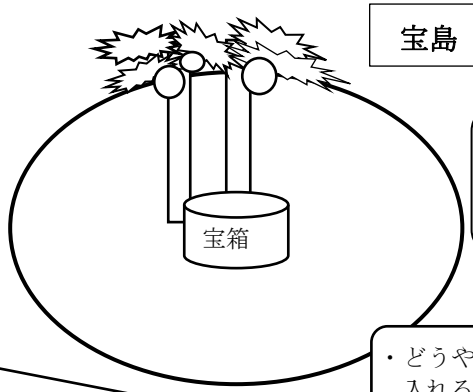
５歳児

環境構成と教師の援助

育ってほしい姿　幼児の言葉　教師の言葉　教師の援助

① 健康な心と体

・遊びの中で、汗をふいたり水分補給をしたりすることを自ら行うことができる。
・安全な遊び方がわかり楽しく取り組む。



宝島

・本物らしいものを作ることでイメージがひろがるよう場を構成していく。

休憩場所（水筒）

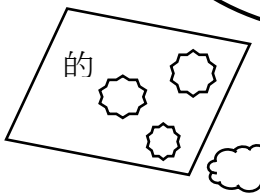
準備するもの

・セロテープ
・ガムテープ
・油性マジック
・色画用紙
・段ボール　　など

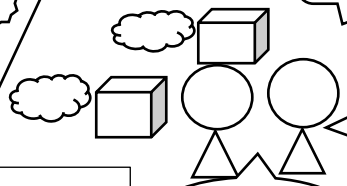
②自立心

・友達と会話をはずませながら積極的に関わって楽しさを共感し合う。
・いろいろなコーナー遊びに挑戦しながらやり遂げたことに満足感を味わう。

・幼児のイメージを受け止め、ストーリーをつなぐための言葉掛けをしていく。



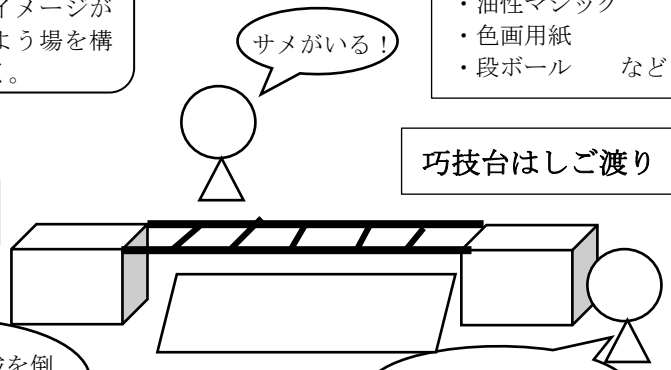
・どうやったら島へ入れるのかな？



ココナッツ海賊を倒して宝を取り返そう

一緒にやろう！

空気砲



サメがいる！

巧技台はしご渡り

・安全に巧技台が使えるように補助員を配置する。

頑張れ、ゆっくりね！

⑩豊かな感性と表現

・友達と海ごっこにむけてイメージを膨らませ様々な素材を使い、遊びに必要なものを作ることができる。

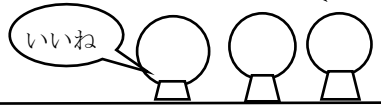
③協同性

・友達と同じ目的に向かって遊びを進めていく楽しさを感じることができる。

・教師も遊びに加わり、遊びの中での発見や驚きに共感し、周囲の友達に知らせながら友達との関わりが深められるようにする。

海に潜って探検だ！

いいね



・ゲームボックスを複数つなげる為、幼児が使い方のルールを守れるように援助をしていく。

海底探検道具

・ゴーグル
・酸素ボンベ
　　など

船に乗ろう！

・みんな、どこにいくの？先生も一緒に行ってみたいな。

⑨言葉による伝え合い

・自分の思いや考えを伝えたり聞いたりしながら遊びを展開することができる。
・ごっこ遊びを通してイメージや言葉を豊かにする。

⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

・必要に応じて友達と比べたり数えたりすることにより、数量や図形に関心が高まるようになる。

④道徳性・規範意識の芽生え

・みんなで共有して使うものが分かり、友達と折り合いをつけて大切に使うことができる。

⑤社会生活との関わり

・友達に遊び方を知らせたり作り方を教えたりすることで、自分が役に立つ喜びを感じる。

⑥思考力の芽生え

・友達の様々な考えに触れることで、自分も工夫したり試したりして、遊びに必要なものを作ることができる。

⑦自然との関わり・生命尊重

・海ごっこ遊びを通して海に関する絵本や図鑑に多く触れ、幼児なりに美しさや不思議さに気付く。

遊戯室入口